

民主島根

2016年
8.14
第1268号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

「ヒバクシャ国際署名」に大きく取り組んでいこう 原水禁広島世界大会、島根から100人 圧倒的な世論で核兵器をなくそう



4日の開会総会で平和の思いをアピールする島根県の青年ら（広島市）

8月4日から6日まで広島市で開催された「原水爆禁止世界大会」に島根県から約100名の代表が参加しました。6日のヒロシマデー集会には5500人が参加し「広島からのよびかけ」（決議）を採択しました。「よびかけ」では、核兵器のない世界を実現するための「具体的で効果的な法的措置」を論議する国連作業部会が設置され、核兵器を禁止・廃絶する条約の実質的な論議が始まっていることが報告されました。さらに、「核抑止力」にしがみついた国々を圧倒的な世論と核兵器禁止・廃絶の運動



8・6反戦・反核・平和行動 浜田市役所前で労組ら座り込み

で包囲し、孤立させるため、世界で数億筆規模の「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」（ヒバクシャ国際署名）の運動を広げ

ることが提起されました。参加者は平和と核兵器なくせの思いを未来に引き継ぐため、署名推進を誓い合いました。（2面に村上万里さんの手記）



3日、第3次安倍改造内閣の発足にあたって、日本共産党の尾村利成県

安倍改造内閣発足にあたり街宣

森岡明生地区労協議長は「戦争法の強行や原発再稼働、沖縄新基地建设などヒロシマの思いとは逆の動きが強まっている。（写真）

尾村県議、遠藤委員が訴え

議、遠藤秀和党県政策委員長は松江市内で街頭演説を行いました。（写真）尾村県議は「2日に閣議決定した事業規模28兆円もの経済対策は、アベノミクスの行き詰まりと破たんを証明したものだ」と批判し、「リニア新幹線など不急不急の大型プロジェクト推進ではなく、くらし・福祉の充実こそ求められている」と



春名、福島氏を囲んで青年のつどい 松江では花火見物も、出雲では交流会

7月10日投票で行われた参院選で奮闘した春名直章氏（比例候補）と福島浩彦氏（鳥取・島根選挙区候補）を囲んだ「青年のつどい」が7月30日、松江市で開かれました。約20人の青年が参加し、交流しました。（写真）

福島氏は「選挙では勝利できなかったけれど、今回たくさんの新しい芽が生まれまし。この芽を大切に育てていきたく。引き続き、頑張りましょう」と挨拶しました。春名氏は「野党共闘が実現し、歴史的な選挙をたたかうことができ、未来は青年のもので。今後とも力を合わせて頑張りましょう」と熱いエールを送りました。春名、福島氏は同日、出雲市も訪れ、交流しました。

鼓動

スマホゲーム「ポケモンGO（ゴー）」が社会現象と、言われるほどの人気で、「ながらスマホ」による交通事故なども各地で起きています。アメリカでは「立ち入り禁止」場所などのポケモン駆除をする業者まで現れたとか。ゲームするモラルとマナーが問われる▼ポケモンGOが日本で配信されマスコミの注目を集めた7月22日、沖縄では政府による許しがたい暴挙が強行された。わずかに人口160人の東村高江集落に、県外から500人以上の機動隊員を導入。暴力で住民を排除し、米軍ヘリコプター着陸帯（ヘリパッド）建設を開始した。マスコミでの扱いはポケモンGOより小さかった▼「これは戦場？ しかも相手は一般市民。テロリストでもなんでもありません。県外からきた機動隊員のほとんどはまだ若く、しかし心を閉ざし表情はなく、まるでロボットのよう」「ロボットみたいな人たちにも、心があります。一人ひとりの心に訴えかけ、味方を増やしていくことがとても大事なことです」と思いが「新婦人しんぶん」8月4日号に寄せたレポートが胸に突き刺さる▼政府は同日、沖縄県との話し合いを放棄し、一方的に提訴する暴挙に打って出た。沖縄では追い詰められた安倍政権による独裁、無法が横行している。参院選では「憲法隠し」して、選挙が終われば「改憲に着手」。こんな「だまし討ち」は許せない▼多くの人たちにこの「現実」を広げよう。9月には臨時国会も始まる。一人ひとりの心にこそ働きかけ、政治を変えるたたかいに「みんなGO」といきたい。（後）